

会 議 録

(/)

会議の名称	第16回 川越市歴史的風致維持向上協議会	
開催日時	平成31年2月1日(金) 14時00分 開会 ・ 15時30分 閉会	
開催場所	川越市役所本庁舎 第1委員会室	
議長氏名	山野 清二郎	
出席委員氏名(人数)	副会長 山野 清二郎 委員 酒井 紀美 委員 牧野 彰吾 委員 篠崎 幸恵 委員 原 知之 委員 勝村 直久 委員 末木 啓介 委員 田中 三喜雄 委員 二瓶 朋史 委員 宮本 一彦 委員 中沢 雅生 以上11名(議長含む)	
欠席委員氏名(人数)	会長 石黒 哲郎 副会長 福川 裕一 委員 後藤 治 委員 田口 陽子 委員 藤村 龍至 委員 佐藤 由美子 以上6名	
事務局職員職氏名	文化財保護課 課長 田中 敦子 都市計画課 課長 小林 武 道路街路課 課長 谷澤 浩 都市景観課 課長 大澤 健 副参事 福釜 周二 副課長 粕谷 勝 副主幹 池田 麗子 主任 高松 参次郎 以上8名	
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 川越市歴史的風致維持向上計画変更について (2) 平成30年度進行管理・評価シートについて (3) 平成31年度事業予定について 4 その他 5 閉会	

配布資料	次第
	委員名簿
	席次表
	資料 1 認定歴史的風致維持向上計画の変更箇所一覧
	資料 2 歴史的風致維持向上計画新旧対照表
	資料 3 平成30年度進行管理・評価シート
資料 4 川越市歴史的風致維持向上計画掲載事業等スケジュール表	

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山野副会長	<p>開会</p> <p>◆ 議長について 石黒会長が欠席のため、川越市歴史的風致維持向上協議会条例第4条第3項に基づき、山野副会長に議長を務めていただいた。</p> <p>(山野副会長あいさつ) 議長代行は2回目になります。あまり専門ではないのでうまく議事が進行できるか心配しています。お忙しい時期にも関わらず、委員の皆様におかれましてはご都合をつけてご出席いただきありがとうございます。スムーズに議事が進行できるようご協力をお願いいたします。</p>
事務局	<p>◆ 協議会の成立について 委員総数17名中、11名の出席を得ており、過半数の出席があるため、川越市歴史的風致維持向上協議会条例第5条第2項の規定により、協議会が成立していることを報告。</p> <p>◆ 協議会の公開・非公開について 会議を公開することについて、各委員から「異議なし」の声を確認。公開することとした。</p> <p>◆ 傍聴希望者について 傍聴希望者なし。</p>
事務局	<p>議事概要</p> <p>◆ 議 題 (1)川越市歴史的風致維持向上計画変更について (資料に基づき説明を実施資料1・2) 計画の変更は「軽微な変更の届出」と「変更認定の申請」の2種類がありますが、国土交通省の担当者に「変更箇所一覧」及び「新旧対照表」の案を提出したところ、「軽微な変更の届出」として問題無いとの意見をいただいています。 本日の協議会でご承認いただいた後、平成31年3月15日までに「軽微な変更の届出」を提出する予定です。</p>

	<p><u>今回の主な変更点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市景観重要建築物から景観重要建造物への指定移行 ・景観重要建造物の新規指定 ・市指定無形民俗文化財の指定 ・歴史的地区環境整備街路事業（連雀町新富町通線）追加 ・事業期間の変更 <p>旧川越織物市場保存整備事業 歴史的地区環境整備街路事業（立門前線） 歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクル構築調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人川越蔵の会について、歴史的風致維持向上支援法人の指定に関する記述の追加 ・その他時点修正、誤字や表現の修正等 <p>（以下、質疑応答） ※一部の質問等については、委員である市の所管部長が回答している。</p>
原委員	川越町並み委員会が都市景観推進団体に指定されていることについても加えていただきたい。
事務局	平成29年度の総務大臣表彰に関することも含め、追記いたします。
勝村委員	連雀町新富町通線の整備は平成31年度と32年度で実施するのでしょうか。
事務局	平成32年度の単年度で整備工事をする予定です。
勝村委員	併せて、どのような整備のイメージを持っていますか。
事務局	喜多院門前通り線の様な、石畳風のもので道路美装化を考えています。
田中委員 （産業観光部長）	「旧鏡山酒造」について、「川越産業観光館」としないのはなぜでしょうか。
事務局	登録有形文化財の登録名が「旧鏡山酒造」であるため、そのような表現としています。

事務局	<p>質疑応答の後、歴史的風致維持向上計画の変更（軽微な変更）について、承認された。</p> <p>(2)平成30年度進行管理・評価シートについて 資料3</p> <p>(3)平成31年度事業予定について 資料4 （関連事項のため、資料をもとに一括で説明）</p> <p>平成30年度の進行管理・評価シートを作成し、平成31年5月末までに国土交通省へ提出する予定。その後、6月頃に国土交通省から指摘事項を受け内容を修正し、7月を目安に市ホームページにて掲載を予定。平成32年度に最終評価を実施する予定。</p> <p><u>評価軸① 組織体制</u></p> <p>計画実現のための推進体制について、平成30年度は川越市歴史的風致維持向上協議会を2回、庁内連絡会議である歴史的風致維持向上推進検討会議を1回開催している。歴史的風致維持向上推進検討会議では、事業担当課だけでなく、政策・財政担当も出席し、各事業の進捗状況や財政状況等について確認し、情報共有を図っている。</p> <p><u>評価軸② 重点区域における良好な景観を形成する施策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価軸②－1 「昭和の街」において、地区街づくり推進条例を活用したまちづくり計画が平成30年7月に認定された。都市計画道路の現在の道路幅への縮小変更については、引き続き埼玉県と協議を行っている。 ・評価軸②－2 景観重要建造物について、平成30年度は1件の新規指定を行った。また、都市景観重要建築物から景観重要建造物へ1件指定移行を行う予定。 ・評価軸②－3 引き続き、市民ボランティアの方々と違反広告物の簡易除却を行っている。 <p><u>評価軸③ 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項</u></p> <p>計画概要、平成30年度事業内容、平成31年度事業予定について説明</p>
-----	--

・【市指定史跡松平大和守家廟所保存整備事業】

平成30年度は6箇年計画の事業の最終年度で、家臣奉獻石灯籠の補修・整備、廟所門の修理、周囲の塀の整備、参道等の周辺整備工事を行った。今年度で事業終了のため、平成31年度事業の予定は無い。

・【市指定史跡永島家住宅保存整備事業】

平成30年度も毎週土曜日と、5月の春祭り、10月の川越まつり、12月の市民の日に一般公開を行った。整備については事業の目途が立たず、平成31年度の整備事業予定は無く、平成32年度までの第1期計画期間内での実施は難しい状況。

・【旧川越織物市場保存整備事業】

平成30年度は建物本体の整備工事に先立ち、敷地の奥にある一部のフェンス設置工事を行った。

本体工事については、6月に工事請負契約を締結したが、8月に契約解除となり、現在改めて入札公告し、3月に契約することを目指している。

活用面については、若手アーティストやクリエイターを対象とした文化創造インキュベーション施設として活用するため、マネージャーの具体的な業務内容や役割等について意見や提案を求めるサウンディング型市場調査を行っている。

平成31年度は整備工事、工事監理のほか、サイン・展示・備品配置等の検討を行う予定。活用面については、引き続き運営管理の検討を行う予定。

・【旧鶴川座保存活用事業】

旧鶴川座を芝居小屋として保存することは断念している。現在はまちの活性化拠点として、民間事業者と地元関係者が中心となって事業を進めている。

・【川越市蔵造り資料館耐震化工事】

請負業者の倒産により、平成30年度工事は中断している状況です。平成31年度は再度発注を行う予定。

【歴史的地区環境整備街路事業（喜多院門前通り線・喜多院外堀通り線・連雀町新富町通線）】

喜多院門前通り線は平成27年度に事業完了している。外堀通り線については、平成30年度は測量・地質調査・道路詳細設計を実施した。平成31年度は道路美装化工事を予定している。連雀町新富町通線については、平成32年度に整備工事を予定しており、平成31年度の事業予定は無い。

・【歴史的環境整備街路事業（立門前線）】

平成30年度は道路の美装化に向けて、占用事業者におけ

る電柱・電話柱・水道管・ガス管の移設工事を行った。平成31年度から2ヶ年に分けて段階的に道路美装化整備を進める予定。

・【新築修景補助事業】

平成30年度は現在のところ補助の予定無し。平成31年度は具体的な補助対象は今のところ無いが、1件の助成を予定している。

・【都市景観重要建築物及び景観重要建造物の活用】

平成30年度は都市景観重要建築物から景観重要建造物への指定移行予定が1件、景観重要建造物の新規指定が1件あった。景観重要建造物の修理に対する助成件数は10件程度となる見込み。平成31年度は修理に対する助成を5件予定している。

・【指定文化財の保存修理事業】

県指定文化財の三芳野神社社殿修理の最終年度であり、社殿の塗り直し工事及び社殿周囲の敷石・雨落ち石組の据え直し工事を実施した。また、県指定文化財八坂神社社殿について、単年度事業として社殿縁周りの塗り直し工事及びシロアリ防除処理を実施した。平成31年度の事業予定は無し。

・【伝統的建造物群保存地区保存整備事業】

平成30年度の助成件数は7件となる見込み。平成31年度は10件程度の助成を予定している。

・【伝統的建造物群保存地区内の景観補助事業】

平成30年度の助成件数は1件を予定している。歴史的風致と調和した門及び板塀の新築事業に対して補助金の交付を行う予定。平成31年度は1件の助成を行う予定です。現在未活用の伝統的建造物である土蔵及びその附属屋の活用を図るための外観の改修に対して補助金の交付を行う予定。

・【伝統的建造物群保存地区保存活動事業への補助事業】

川越市都市景観条例に基づく都市景観推進団体である川越町並み委員会の保存活動事業に対して補助金を交付するもので、平成31年度も継続する予定。

・【川越氷川祭の山車行事保存会、伝統民俗行事保存会等への補助事業】

平成30年度は山車修理の支援や各団体への補助等を実施した。平成31年度も同様の支援を行う予定。

・【歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクル構築調査】

平成30年度は都市景観課が所管する歴史的建造物である、伝統的建造物・景観重要建造物・都市景観重要建築物について、カルテの作成を行った。平成31年度は引き続きカ

ルテの作成を行うとともに、マッチング方式を基本としたパイロットプロジェクトの実施を検討している。

評価軸④ 文化財の保存又は活用に関する事項

・【文化財の保存・活用について】

平成29年度と同様に、市指定文化財の永島家住宅・旧山崎家別邸・旧川越織物市場に関することと、民間所有の市指定文化財の利活用について記載している。

・【文化財の指定及び修理について】

松江町1丁目と喜多町の山車の修理に関すること等を記載している。

・【文化財の防災、保存及び活用の普及啓発について】

平成31年1月24日に喜多院・東照宮・日枝神社で実施された防火訓練と、遺跡発表会に関することを記載している。

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道

新聞等による報道について説明。

評価軸⑥ その他

行政及び市民による重点区域内での活動及び、歴史まちづくりの効果として、観光客数及び外国人観光客数の推移について説明。

その他歴まち計画掲載事業以外の関連事業について説明。

・【まちづくり支援事業】

平成27年度より、喜多院周辺地区を川越市景観計画に基づく都市景観形成地域に指定するため、地域の方と検討会議等を行い、都市景観形成基準について検討を行っている。平成30年度は2回の検討会議と、住民説明会を行っている。

・【歴史的風致状況評価調査業務】

平成33年3月に終了する第1期計画の次期計画策定に向けて、現行の認定計画における取組の進捗状況や終了時点での歴史的風致の状況などを評価し、次期計画作成の必要性を明確化するために、エリア内の歴史的風致形成建造物所有者と歴史的風致維持向上支援法人へのヒアリングや調査を通して、歴史的風致の維持向上のためのアドバイスを行う予定。

・【川越城本丸御殿修景事業】

西側（川越高校側）の万年塀について、現在のままでは耐震の基準に満たないため、塀の解体及び代替の柵を設置する予定。

	<p>(以下、質疑応答)</p> <p>※一部の質問等については、委員である市の所管部長が回答している。</p>
原委員	<p>【都市計画法に基づく措置】について、中央通り線の仲町交差点から連雀町交差点までの都市計画道路の縮小変更をすることでしょうか。</p>
事務局	<p>現在仲町交差点まで都市計画道路の計画線が道路の西側に入っています。「昭和の街」として地域の方々が街並み景観を活かした取り組みをしていますので、一番街区間と同様に縮小変更、これ以上広げない整備をしていきたいということで、道路管理者の埼玉県と協議を進めているところです。</p>
原委員	<p>歩道はどのようになりますか。</p>
事務局	<p>埼玉県に歩道のバリアフリー化と無電柱化を要望しているところです。</p>
勝村委員	<p>旧鶴川座保存活用事業について、歴史的風致維持向上計画の記載では芝居小屋とする旨記載されていますが、進捗評価シートでは芝居小屋とすることを断念したとあります。その表現の違いはどうなるのでしょうか。</p>
事務局	<p>歴史的風致維持向上計画に記載している内容につきましては、計画が変わるたびに変更していると、当初の計画と最終評価の際の差がわかりづらくなるため、あえてそのままとしています。特に計画の後半の時点で、現状に合わせて計画変更をすると、最終評価で100%の達成ばかりとなってしまう、正しい評価ができなくなる恐れがあります。進捗評価シートは毎年度の状況を掲載するため、計画の記載内容と異なる状況となっています。</p>
原委員	<p>旧鶴川座が取り壊されてしまうことは残念ですが、この貴重な建物を取り壊す前に、何か調査等を行っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>文化的価値の調査は過去に3箇年かけて実施しており、その資料は保管しております。地域の方々が持つ、旧鶴川座に関する過去の資料を展示するスペースを設けてほしいと民間事</p>

	業者の方には伝えています。併せて、市が所有する資料等について求められれば提供するべきだと考えています。
山野副会長	立門前と大正浪漫夢通りの交差点角地について、危険な建物は除却されましたが、何か計画はあるのでしょうか。
事務局	こちらに関しても土地は民間の方のものなので、市としての計画はございません。地元の商店会からの意見としては、とりあえず危険な建物が除却され、当面このままではないのかということです。
原委員	一番街の公衆トイレや、小林斗あん邸跡地等、暫定的な使用とされてきましたが、長期間経っているところの今後の計画はどうなっているのでしょうか。
田中委員 (産業観光部長)	鍛冶町広場については当面現状のままと思われます。小林斗あん邸跡地については、様々なご意見がありますが、モニユメントの設置を計画しています。
山野副会長	【川越市の歴史的風致に関する報道】について、埼玉新聞に様々な記事があるのではないのでしょうか。現在一部の新聞社に偏っているため、他の記事を掲載するべきと考えます。
事務局	再度報道記事を精査します。
原委員	屋外広告物（道路はみだし看板等）について、伝建地区内の商店街を先日市がパトロールを行っていましたが、こういったこともこの協議会や進捗評価シートで取り上げて良い内容でしょうか。
二瓶委員 (都市計画部長)	一番街の一方通行や歩行者天国に関する話が話の始まりではありますが、結果としては屋外広告物の指導等に繋がるため、この会議の場で取り上げることや、進捗評価シートに掲載することは差し支えないと考えます。
事務局	進捗評価シートに今回のパトロールについて掲載可能か検討します。
篠崎委員	事業者の都合等もあるかと思いますが、事業が停滞してしまうことが続いています。今後の見通しとしてはどのようなも

	<p>のでしょうか。</p>
<p>二瓶委員 (都市計画部長)</p>	<p>市としても大事な事業であり、上手くいくように手法を考えています。旧川越織物市場につきましては、入札等の手続きを進めており、しかるべきタイミングでご報告したいと思います。</p>
<p>中沢委員 (教育総務部長)</p>	<p>川越市蔵造り資料館耐震化工事につきましては、工事の進捗を再検査してから、設計・再発注する予定のため、平成32年度までの事業予定です。</p>
<p>田中委員 (産業観光部長) 事務局</p>	<p>進捗評価シート P20 の旧山崎家別邸や永島家住宅の写真をより良いものにしてください。</p> <p>年度末時点のものに更新する際、併せて修正します。</p>
<p>中沢委員 (教育総務部長)</p>	<p>P20【文化財の保存・活用について】の「実施・検討にあたっての課題と対応方針」に永島家住宅の記載があるが、P6 と重複する部分があり、記載内容について検討していただきたい。</p>
<p>原委員 事務局</p>	<p>伝建地区の屋外広告物について、自家広告物以外を全て排除するのではなく、優れたデザインのものについては許可するような制度があると良いと考えます。</p> <p>※伝建地区は川越市屋外広告物条例上「禁止地域」に該当するため、自家広告物以外の看板を掲出できない。(例：店舗の敷地以外に設置する案内看板等は掲出不可)</p> <p>都市景観審議会にお諮りする内容と思われますので、調査研究してまいりたいと思います。</p> <p>質疑応答の後、「平成30年度進行管理・評価シートについて」及び「平成31年度事業予定について」について承認された。</p> <p>◆ その他 委員からその他意見等なし。</p> <p>次回の歴まち協議会については改選後7月頃を予定している。</p> <p>閉会</p>

